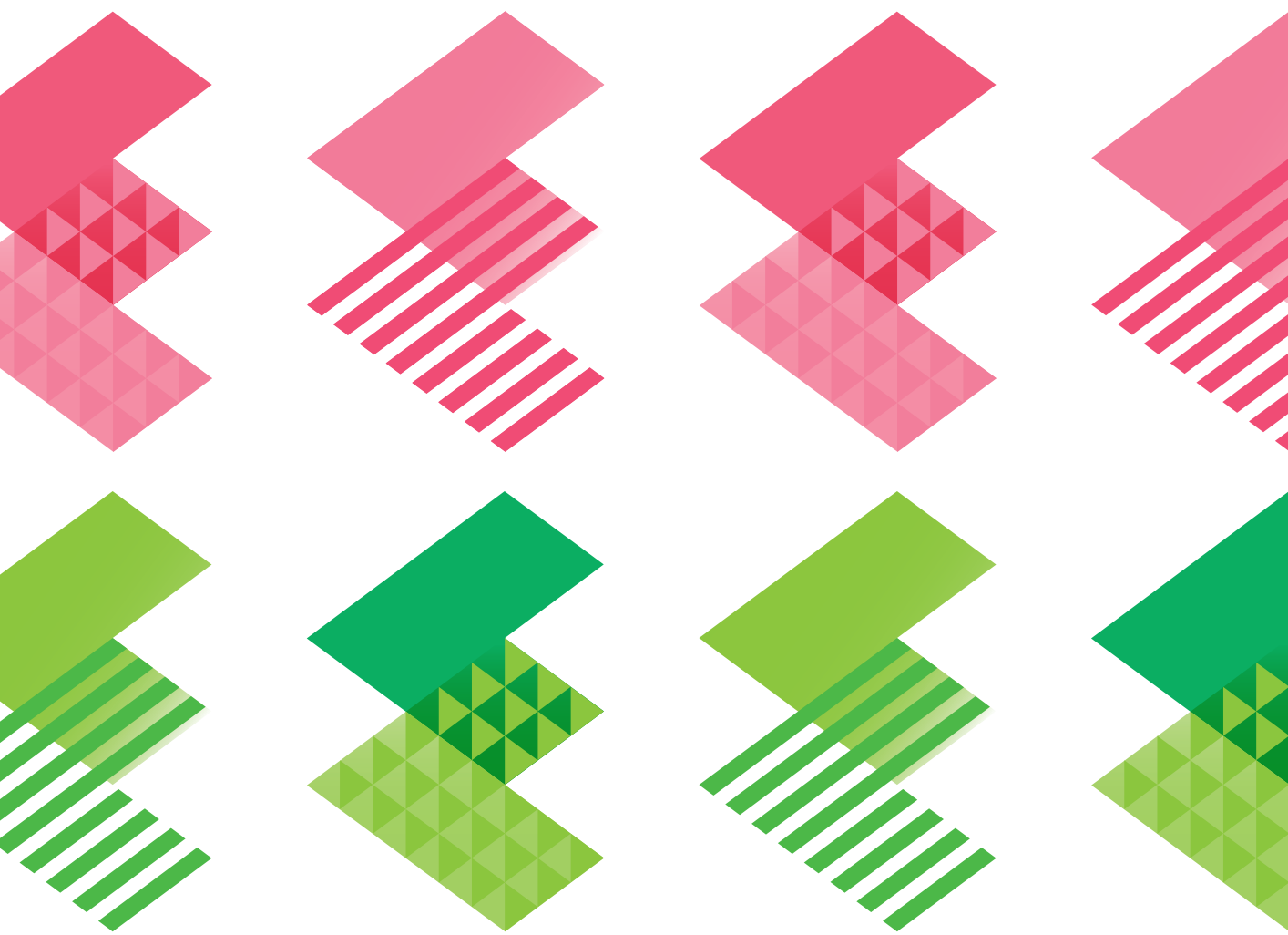




じもと

HOLDINGS

2020.3 MINI DISCLOSURE

じもとホールディングスミニディスクロージャー誌



きらやか銀行



仙台銀行

ごあいさつ

平素より格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

本年度は、2018年4月より開始した中期経営計画の最終年度となります。

じもとグループの中期経営計画は、「顧客本位の本業支援」「統合効果発揮」の2つのキーワードと5つの骨子から成ります。

「顧客本位の本業支援」においては、本業支援を真に必要としているお客さまのもとへ足を運び、しっかりと寄り添うことで生まれるお客さまの喜びと成長を通して、地域経済の発展・地方創生に向けた取り組みを行ってまいりました。

財務改善や企業価値向上を目指す「中小企業成長戦略」や、両行の審査担当者を仙台に配置し融資案件にスピーディーに対応できる態勢とした「仙台地区営業戦略」など、各種施策を展開しております。

「統合効果発揮」においては、グループ全体で組織・業務運営態勢の更なる効率化・合理化に努め、これまで以上に信頼される金融グループを目指しております。具体的には、「両子銀行のバックオフィスの統一、システム・帳票等の統一」や、「きらやか銀行事務センターへの業務集約」等、業務運営態勢の見直し、効率化を推し進めることで、お客さまに対する本業支援に一層力を注ぐことのできる態勢整備に取り組んでおります。

加えて、新型コロナウイルス感染症が世界的に猛威を振るう中、じもとグループが基盤とする地域経済への影響や、お取引先の中小企業及び従業員の方々の雇用環境の悪化等が懸念される状況にあります。この様な誰もが過去に経験したことのない厳しい環境下、じもとグループでは総力を挙げてお客さまに寄り添い、金融仲介機能を発揮し今こそ「顧客本位の本業支援」を実践してまいります。地域金融機関の責務として、真にお客さまから喜ばれる本業支援を役職員一丸となって愚直に実践することで、共にこの難局を乗り越えるべく強い覚悟をもって取り組んでまいります。

皆さま方におかれましては、今後とも、じもとグループに更なるご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



株式会社 じもとホールディングス会長
株式会社 仙台銀行 頭取

鈴木 隆

CONTENTS

ごあいさつ	巻頭
会社概要	01
中期経営計画の取り組み状況	02
新型コロナウイルス感染症への対応	04
両行の取り組み	06
仙台銀行	07

トピックス	じもとホールディングス	08
業績ハイライト	じもとホールディングス	09
トピックス	きらやか銀行	10
	仙台銀行	12
業績ハイライト	きらやか銀行	14
	仙台銀行	16
株主の皆様へ	巻末	



株式会社 じもとホールディングス社長
株式会社 きらやか銀行 頭取

栗野 学



じもと
HOLDINGS



じもと
HOLDINGS

本社所在地 仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
電話番号 022-722-0011(代表)
設立年月日 2012年10月1日
資本金 170億円
上場取引所 東京証券取引所
ホームページ <https://www.jimoto-hd.co.jp/>



きらやか銀行

本店所在地 山形市旅籠町三丁目2番3号
電話番号 023-631-0001(代表)
設立年月日 2007年5月7日
資本金 227億円
預金・譲渡性預金 12,212億円
貸出金 10,159億円
従業員数 932人
店舗数 117カ店(県内98カ店、県外18カ店、その他1カ店)(注)
(注) ブランチ・イン・ブランチ(店舗内店舗)形式での店舗統合による
実質店舗数は62カ店(県内45カ店、県外16カ店、その他1カ店)。
ホームページ <https://www.kirayaka.co.jp/>



仙台銀行

本店所在地 仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
電話番号 022-225-8241(代表)
設立年月日 1951年5月25日
資本金 224億85百万円
預金・譲渡性預金 11,003億円
貸出金 7,514億円
従業員数 728人
店舗数 72カ店(注)
(注) ブランチ・イン・ブランチ(店舗内店舗)形式での店舗統合による
実質店舗数は52カ店(うち出張所2カ店)。
ホームページ <https://www.sendaibank.co.jp/>

(2020年3月31日現在)

中期経営計画の理念 ～我々は“なぜ”「本業支援」に取り組むのか？～

必要としている支援を受けられていない中小企業の皆さまの力となるため
 地元の復興ならびに地方創生に貢献するため

じもと
グループの
目指す姿

- 「本業支援」でお客さまの喜びと成長を通して、地域経済の発展・地方創生に貢献していく。
- グループの統合効果を最大限に発揮し、地元の復興の一助となる。
- グループの収益確保と財務の健全性確保に努め、安定した顧客基盤、収益基盤を確立する。

キーワード
Keyword

顧客本位の
本業支援

統合効果発揮

中期経営計画の柱

持続可能な
ビジネスモデルの確立
～「本業支援」を核とする～

効率化・合理化
～グループ業務運営態勢再構築～

ガバナンス態勢の強化

計数計画と経営指標

	2018/3期(始期)	2019/3期(実績)	2020/3期(実績)	2021/3期(計画)
コ ア 業 務 純 益	44億円	41億円	48億円	62億円
当 期 純 利 益	34億円	18億円	19億円	40億円
コ ア O H R	85.27%	85.74%	83.13%	79.95%
預 金 平 残	23,131億円	23,063億円	22,974億円	24,020億円
貸 出 金 平 残	16,689億円	17,029億円	17,505億円	17,955億円
自 己 資 本 比 率	8.70%	8.39%	8.07%	8.35%
顧 客 向 け サ ー ビ ス 業務利益(始期比増加額)	▲28億円 (-)	▲15億円 (+13億円)	▲7億円 (+21億円)	1億円 (+29億円)

※顧客向けサービス利益＝貸出残高×預貸金利回り差＋役務取引等利益－営業経費

2019年度 実績

① 中小企業向け新サービス展開

- きらやか銀行 福利厚生サービス
「ふっくりパッケージ」
- 仙台銀行 クラウド型本業支援
「Sendai Big Advance」

② 仙台地区戦略・中小企業融資を増強

③ ビジネスマッチングの実績

- ・宮城・山形⇒紹介:445件 成約:78件
- ・東京きらぼしFG⇒紹介:18件 成約:7件

① 市場金融部門のバックオフィス統一

② RPA化による業務の合理化

③ 両行統一の進展

- ・電子帳票システム、固定資産システムの統一
- ・就業規則、給与規程の統一

監査等委員会設置会社への移行

- ・社外取締役比率1/3以上
- ・中長期の経営課題について議論充実

2020年度 施策

未曾有のコロナ禍「今こそ本業支援!」

- 資金繰り対応チームの設置
- 休日相談窓口の設置

中小企業
成長戦略の深化

融資審査ノウハウの
共有・向上

非金利収入
増加戦略

IT・FinTechの
活用

営業店業務のプロセス効率化

店舗役割と
人員配置の見直し

バックオフィス、
事務の統一

子銀行の監査等
委員会設置会社移行

グループ監査
体制の強化

ESG・SDGsの情報開示

新型コロナウイルス感染症の 感染拡大による影響への対応

新型コロナウイルス感染症が世界的に猛威を振るうなか、あらゆる活動が制限され、わたしたちを取り巻く環境は大きく変容しています。このような状況下において、お客さまに寄り添い、持続的な金融支援によって地域の事業をつないでいくことが地域金融機関としての使命であり、今こそじもとグループの「本業支援」で、この危機を地域の皆さまと共に乗り越えていきたいと考えています。

理念・方針

“私たちの想い”

本業支援を通して

地元の「中小企業」と「そこに働いている従業員の皆さま」から喜んでいただき地域と共に生きること。

財務の
本業支援

成長の為の
本業支援

福利厚生
の本業支援

「人で勝負する銀行」を発展させ本業支援を通じて、
地元の復興と地域活性化に貢献する

本業支援と
最適提案

お客さまへの
伴走型支援

創業期企業
への支援

コロナショック、今こそ
じもとグループの「本業支援」で
お客さまの力に。

さらやか銀行

仙台銀行

きらやか銀行の主な対応

1・15

日本国内初感染者確認

02.14

事業者向け
相談窓口設置
取引先の事業への
影響調査開始
(定期的実施)

03.15

事業者向け
休日相談窓口設置

03.31

日本政策投資銀行と
「災害対策業務協力協定」締結

04.01

返済条件変更および
繰上返済手数料を
全額免除

04.03

「本業支援緊急対策室」
設置

04.27

営業店における
昼休業および交代勤務の実施

05.02～06

GW期間中の休日相談窓口開設

2・29

宮城県内初感染者確認

3・31

山形県内初感染者確認

4・7

7都府県に
緊急事態宣言発令

16

緊急事態宣言を
全都道府県へ拡大

5・4

緊急事態宣言の期間延長

14

緊急事態宣言の一部解除

02.14

事業者向け
相談窓口設置
緊急融資
取扱い開始

03.06

「地元企業支援チーム」
設置
営業店と本部の連携強化

04.21

日本政策投資銀行と
「災害対策業務協力協定」締結

04.10

「個人向けローンご相談窓口」設置

03.31

「地元企業支援対策本部」設置
本部組織横断的な支援体制強化

04.23・24

「人事労務・助成金
個別無料相談会」第1回 開催

05.19・20・27

「人事労務・助成金
個別無料相談会」
第2回 開催

05.02～06

GW期間中の
休日相談窓口開設

04.27

一部営業店における
昼休業の実施

仙台銀行の主な対応

「本業支援緊急対策室」を設置

～「短期」と「中長期」の両方の目線でお手伝いします！～

新型コロナウイルスの影響を受け、本業支援を必要としているお客さまに対し、より早期の本業支援及び資金対応を実施するため、本業支援本部内に「本業支援緊急対策室」を新設しました。

事業運営に支障をきたしている中小企業の皆さまに対し、短期的には資金繰り支援を、中長期的には事業計画立案を見据えた取り組みを行っております。

対応内容

- 1 売上減少等に伴う資金繰り支援
- 2 既存借入の返済条件変更等のご相談
- 3 将来的な事業計画策定支援

等

組織図

本業支援本部

本業支援緊急対策室

本業支援戦略部



本業支援緊急対策室

本業支援緊急対策室の声

新型コロナウイルスの感染拡大により経済活動が制限され、未曾有の危機にさらされている地元の中小企業に対して迅速な資金繰り対応を行うと共に、経営者の皆さまに寄り添い、この難局を乗り越え企業が目指す姿にたどり着くためのビジョンと一緒に描くお手伝いを行ってまいります。

当行が11年かけて築き上げてきた「本業支援」で、お客さまの事業継続と発展に向けて当行一丸となり取り組んでまいりますので、お困りごとや不安に思われていることがございましたら当行までご相談ください。

ご相談窓口を設置しております

新型コロナウイルスの影響を直接的、間接的に受けられているお客さまのための〈ご相談窓口〉を本業支援戦略部内に設置しております。お気軽にご相談ください。

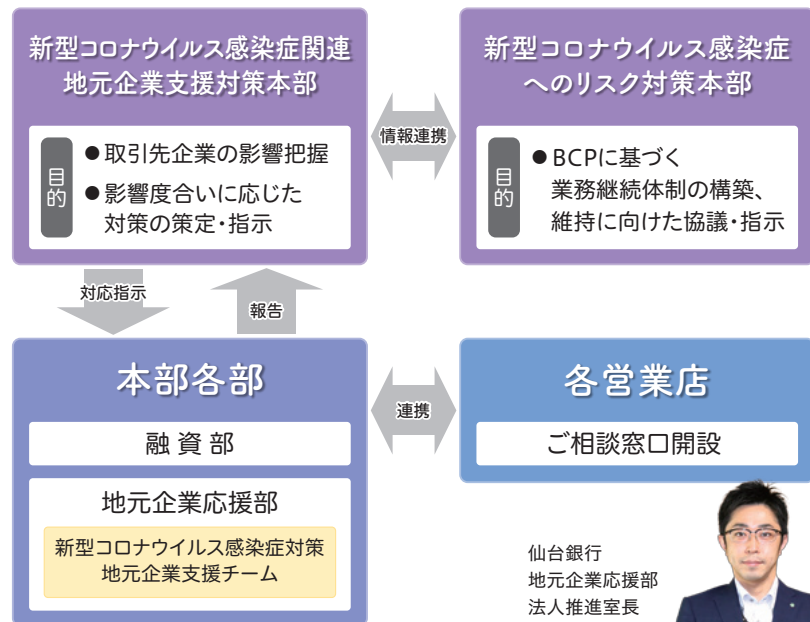
	電話番号	受付時間
平日 ご相談窓口	023-628-3924	平日 9:00～15:00
休日 ご相談窓口		土日・祝日 9:00～17:00

(2020年6月末現在)

新型コロナウイルス感染症への対策体制を整備

～ 影響を受けられたお客さまへの支援に最優先で取り組みます ～

新型コロナウイルス感染症対策体制図



地元企業応援部 地元企業支援チームの声

今般の新型コロナウイルス感染症拡大の影響により日本経済は今これまでに経験したことのないような危機的状況下であり、地元の事業者さまにおかれましても今後長期間にわたり影響が続くことが想定されます。

当行では影響を受けられた事業者さまへの資金繰り支援を最優先事項として、役職員一丸となって取り組んでおります。

東日本大震災時にもそうであったように、「被害を受けられた取引先さまは必ず助ける。」という想いで皆さまと共にこの危機に全力で立ち向かってまいりますので、お困りごとがございましたらご相談ください。

ご相談窓口を設置しております

事業者向け	設置場所等		受付時間
	窓口でのご相談	各営業店（出張所を除く）	平日 9:00～15:00
	電話でのご相談	022-225-8281（特別相談ダイヤル）	平日 9:00～17:00



入事労務・助成金
個別無料相談会この様子

個人向け	ご相談内容	フリーダイヤル	設置場所	受付時間
	住宅ローン関係	0120-300-039	本店住宅ローンプラザ	平日 9:00～19:00／日曜 10:00～17:00
		0120-436-039	泉住宅ローンプラザ	平日 9:00～19:00／土曜 10:00～17:00
	個人向けローン関係（住宅ローン以外）	0120-600-039	ダイレクトマーケティングセンター	平日 9:00～19:00

（2020年6月末現在）

ESG・SDGsの取り組み紹介を じもとホールディングス ホームページに開設！



グループの統一方針である
本業支援を通じた地域や企業への取り組みが、
「ESGやSDGsの目指す持続可能な社会」の
実現につながるという考えのもと、
本業支援に積極的に取り組んでおります！

これまでのじもとグループのESGやSDGsに関する取り組みをまとめ、
今般、じもとホールディングスのホームページ内に取り組み内容の紹介
ページを開設いたしました。

仙台銀行、きらやか銀行のホームページからもアクセス可能ですので、
是非ご覧ください。

アクセスは、

じもとホールディングスHP
(<https://www.jimoto-hd.co.jp/>)

グループ事業・
戦略

ESG・SDGs
への取り組み

◆「ESG」は、企業の長期的成長には「環境 (Environment)」「社会 (Social)」「企業統治 (Governance)」を重視した経営を行う必要があるという考え方です。

◆「SDGs」は、2015年にニューヨーク国連本部において193の加盟国の全会一致で採択された国際目標です。「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals)」を指しており、社会が抱える問題を解決し、世界全体で2030年を目指して明るい未来を作るための17のゴールと169のターゲットで構成されています。

今後も持続可能な社会の実現に向けたじもとグループ独自の取り組みをご紹介します！

じもとホールディングス連結業績

(単位:百万円、%)

	2020年 3月期	前年同期比	増減率	2019年 3月期
連結経常収益	42,354	△496	△1.1	42,850
経常利益	2,571	△20	△0.7	2,592
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,733	103	6.3	1,630

2020年3月期の連結業績は、連結経常収益は423億54百万円、経常利益は25億71百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は17億33百万円となりました。

きらやか銀行・仙台銀行(単体)の2行合算

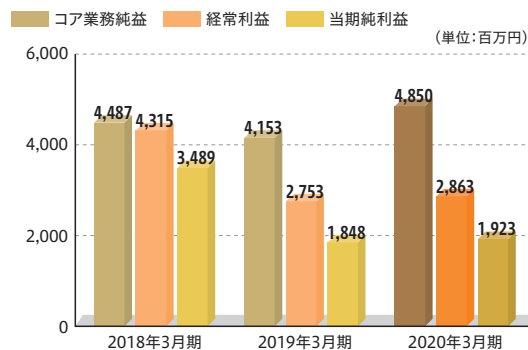
(単位:百万円、%)

	2020年 3月期	前年同期比	増減率	2019年 3月期
経常収益	37,095	△191	△0.5	37,286
業務粗利益	28,236	△624	△2.1	28,860
経費 (除く臨時処理分)	23,914	△1,080	△4.3	24,994
コア業務純益	4,850	696	16.7	4,153
除く投資信託 解約損益	3,810	1,056	38.3	2,753
経常利益	2,863	110	4.0	2,753
当期純利益	1,923	74	4.0	1,848
貸出金	1,767,398	1,574	0.0	1,765,823
預金 (譲渡性預金を含む)	2,321,629	1,133	0.0	2,320,496
有価証券	459,307	△47,944	△9.4	507,251

2行合算の経常収益は、前年同期比1億91百万円減少の370億95百万円となりました。

銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、資金利益が減少したものの、経費が減少したことなどから、前年同期比6億96百万円増加の48億50百万円となりました。

経常利益は前年同期比1億10百万円増加の28億63百万円、当期純利益は前年同期比74百万円増加の19億23百万円となりました。



新経営理念“私たちの想い”



2019年10月、当行の基本理念である「お客様ベストに挑戦」といった考え方を具現化するべく、これまでも本誌や会社説明会などでご紹介してきました「私たちの想い」「本業支援を通して 地元の『中小企業』と『そこに働いている従業員の皆さま』から喜んでいただき地域と共に生きること。」を新たに「経営理念」として掲げ、お客さまへの本業支援に取り組む姿勢を明示し、全役職員が同じ想いを持って本業支援に取り組む体制といたしました。引き続き、お客さまから喜ばれる本業支援を実践、強化してまいります。

第一勧業信用組合と 「地方創生における包括連携協力に関する協定」を締結



2020年1月、首都圏に拠点を置く第一勧業信用組合（以下、「第一勧信」と）と「地方創生における包括連携協力に関する協定」を結びました。「地域とのふれあいを大切に、皆さまの幸せに貢献します」を経営理念として掲げる第一勧信と、“私たちの想い”を経営理念として掲げる当行は同じ志を有しており、両者の事業の相互利用促進、お取引先のビジネスマッチングや雇用創出支援、人材交流等を行うことで、地元企業の活動支援、地域社会の発展を目指します。



「地方創生における包括連携協力に関する協定」締結式

『子ども支援』定期預金の取り扱いを開始



当行では、2019年7月より『子ども支援』定期預金の取り扱いを行っております。この商品は、山形県内で「子ども食堂※」などの活動に取り組む支援団体に対し、山形県社会福祉協議会（山形県子どもの居場所づくりサポートセンター）を通じ、預金残高に応じて寄付を行うもので、お客さまのご負担はございません。

なお3月末時点で、481社の企業さまからのお預入により預金残高が100億円に到達し、累計100万円を寄付しております。

今後もさまざまな活動を通じて地域の活性化に向けて取り組んでまいります。

※無料または低価格帯で子どもに食事を提供するコミュニティのことで、様々な理由から満足に食事を取ることができない子どもや家庭を支援する取り組みとして全国的に広がっています。



寄付金贈呈式

福利厚生サービス「ふっくりパッケージ」の拡充

人材確保・定着のため福利厚生に力を入れたいという多くの経営者さまのニーズを受け、2019年1月より開始した福利厚生サービス「ふっくりパッケージ」が大変好評を得ております。

ふっくりパッケージの魅力

1 会員限定資産形成サービス

普通預金の100倍の金利※の「ふっくり口座」のほか、当行ATMの時間外手数料が無料となるサービスを展開しております。

※2020年3月末日時点で年0.100%の金利

2 会員限定優待サービス

掲載店で割引などの特典を利用できるふっくりパスポートを年2回進呈しており、第3弾では山形県内・仙台地区の120店舗を掲載しております。

3 会員限定体験サービス

当行が企画する各種イベントへ無料でご招待しており、「貴重な体験ができて楽しかった」「また参加したい」といったお声をいただいております。



「会員限定優待サービス」
ふっくりパスポート vol.3

© 2012, 2020 SANRIO CO., LTD. APPROVAL No. L610791



「会員限定体験サービス」
美Body Making ヨガ&ピラティス

今後も地元の「中小企業」と「そこに働いている従業員の皆さま」から喜ばれるサービスを展開してまいります。

SBI マネープラザとの共同店舗の運営開始 ～県内金融機関では初めての取り組み～

2019年10月、株式会社SBI証券の子会社であるSBIマネープラザ株式会社との共同店舗を山形市内に新設いたしました。同社との共同店舗は、山形県内では初、東北地方では仙台銀行に次いで2例目となります。

この共同店舗では、SBI証券が有する豊富な商品ラインナップを資産運用に関するコンサルティング等を交えながら対面でご提案し、お客さまの幅広いニーズにお応えすることを目的としております。今後もお客さま本位のより良い業務運営を目指し、更なる商品およびサービスの質の向上に取り組んでまいります。



きらやか銀行SBI マネープラザオープニングセレモニー

仙台銀キャピタル&コンサルティング始動

当行では、2020年1月10日、当行100%出資子会社である「株式会社仙台銀キャピタル&コンサルティング」を設立しました。主な業務内容はM&Aに関する仲介・斡旋や経営コンサルティングなどで、複雑化・多様化する経営課題に対し多角的かつ専門性の高いサービスをご提供します。

事業承継・M&Aに限らず、経営コンサルティングやあらゆる疑問などを幅広く受付する「何でも相談窓口」や、各支店窓口を通じたM&Aの相談など、設立以来すでに多くの経営者様から当社へお問い合わせをいただいております。

当行では、同社やきらやか銀行、外部専門機関と連携し、お客さまへこれまで以上に踏み込んだご提案を行ってまいります。



ご相談お待ちしております

宮城県へ震災復興寄附金を贈呈



当行は、2019年夏に行った「祝・令和！仙台銀行 夏の定期預金キャンペーン」にてお預入れいただいた定期預金実績の一定割合を、復興支援金として活用いただくため2019年11月、宮城県へ寄附いたしました。

この取組みは、今回で10回目となり、これまで寄附した金額は累計で1,680万円となりました。これを記念して宮城県より感謝状が贈呈されました。

当行は被災地金融機関として、引き続き震災復興に向けた支援を継続してまいります。



贈呈式の様子

プラチナくるみん認定取得



当行は、2019年12月、宮城労働局長より、次世代育成支援対策推進法に基づく「基準適合一般事業主」として特例認定（プラチナくるみん認定）を受けました。

当行はこれまでにくるみん認定を受けておりましたが、男性の育児休業取得率向上や働き方改革に向けた勤務体系の整備など、くるみん認定企業としてより高い水準の取組みが評価され、今回上位認定であるプラチナくるみに認定されたものです。

当行では今後も、「人で勝負する銀行」の発展のため、働き甲斐があって働きやすい企業づくりを実践してまいります。



Sendai Big Advance に新機能追加

2019年11月よりサービスを提供しておりますクラウド型本業支援プラットフォーム「Sendai Big Advance」に、2020年4月より新機能が追加されました。

追加された機能は次の通りです。

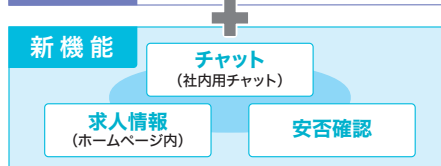
- ・「チャット」…従来の“銀行・会員企業間”に加え、新たに会員企業のオーナー様と従業員様による“社内用チャット機能”がご利用いただけます。
- ・「安否確認」…オーナー様が従業員の安否を確認できる機能。従業員アカウントで怪我の有無や出社の可否報告が可能となります。
- ・「求人情報」…従来のホームページ作成機能に、「求人情報」のページを追加。自社の求人募集内容を登録することで、中途採用・転職サービスの「ミイダス」(当行業務提携先)に登録され、ミイダスサイト内の求職者データベースの閲覧が可能になります※。

当行は引き続き様々なサービスを通じてお客さまの経営課題解決に向けた本業支援に取り組んでまいります。

※ミイダスの求職者データベースより求職者へ面接のオファーを出す場合は、ミイダス所定の費用が発生いたします。

Sendai Big Advanceの主なサービス

	01 ビジネスマッチングサービス 全国の参加企業や大手パートナー企業とのマッチングがWebで行えます。
	02 オープンイノベーション 大手パートナー企業が募集するコラボレーションテーマに対し、自由に提案・応募できます。
	03 情報・メディア機能 補助金・助成金や各種セミナー・ニュースなど、経営に役立つ各種メディアの情報を集約してご提供します。
	04 福利厚生サービス 従業員様向けの旅行やレジャー・グルメ・ショッピング等で割引が受けられる福利厚生サービスや各種ローンなどがご利用できます。
	05 ホームページ作成機能 Sendai Big Advance内で自社のホームページを簡単に作成できる機能です。 ※作成したホームページは、外部サイトからも検索・閲覧可能。



「仙台銀行じもと応援創業支援パッケージ」取扱開始

当行では、2020年4月より、お客さまの創業支援の一環として、「仙台銀行じもと応援創業支援パッケージ」のサービスを開始しました。

このパッケージは、当行に預金口座をお持ちで設立5年以内の法人のお客さま、創業5年以内の個人事業主のお客さまがお申込みいただけます。お申込みいただいたお客さまには、法人向けインターネットバンキングの契約料無料、法人向けクレジットカードの年会費初年度無料、Sendai Big Advance の月会費2ヵ月間無料などの優遇サービスをご提供します。

当行は、様々なサービスを通じて創業期のお客さまの支援を行ってまいります。

仙台銀行じもと応援

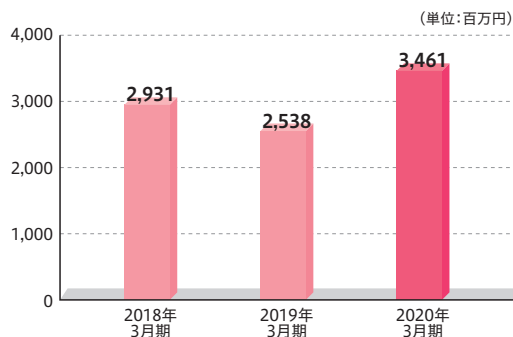
創業支援パッケージ

パッケージ内容	
1 法人向け インターネットバンキング 契約料無料!	2 法人向け クレジットカード 年会費初年度無料!
3 クラウド型 本業支援プラットフォーム Sendai Big Advance 月会費 2ヵ月無料!	4 仙台銀行 ビジネスクラブ(SBC)入会後 初回セミナー 参加無料!
5 ビジネスマッチング 情報の提供	6 業務提携先の 紹介

業績ハイライト(単体)

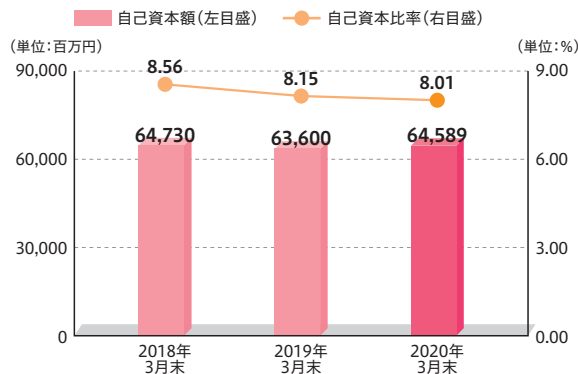
コア業務純益の状況

銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、資金利益が減少したものの、経費が前年同期比で8億21百万円減少したことなどから、前年同期比9億23百万円増加の34億61百万円となりました。



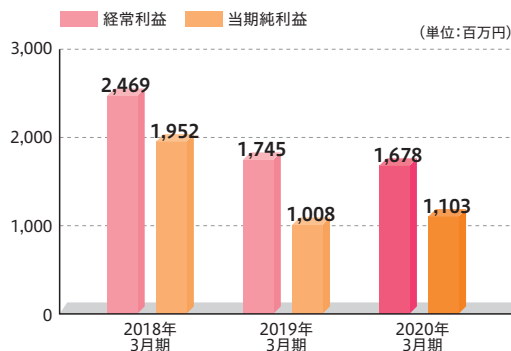
自己資本比率の状況

単体の自己資本比率は、中小企業向け貸出に注力したことに伴いリスクアセット(分母)が増加したことなどから、2019年3月末比0.14ポイント低下の8.01%となりました。



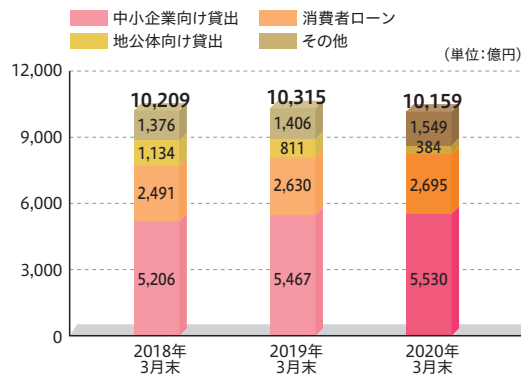
経常利益・当期純利益の状況

経常利益は、前年同期比67百万円減少の16億78百万円、当期純利益は、前年同期比95百万円増加の11億3百万円となりました。



貸出金の状況

貸出金残高は、中小企業向け貸出や消費者ローンが増加したものの、政策的要因により地公体向け貸出が減少したことなどから、2019年3月末比156億34百万円減少の1兆159億21百万円となりました。

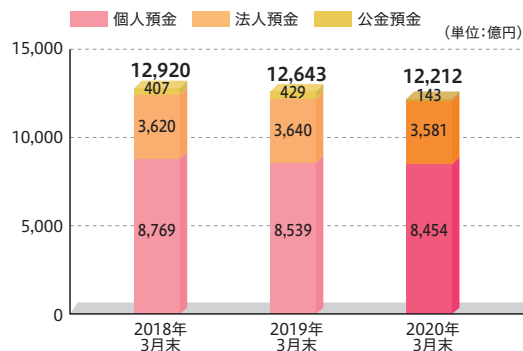


用語解説

■ コア業務純益 「業務純益」から「一般貸倒引当金繰入額」と「国債等債券損益」を除いたものです。分かりやすく言えば、資金運用収益と調達費用の差額である資金運用収支と、送金手数料等の手数料収支から、営業経費を引いた、いわゆる銀行本業部分の収支のことを指します。

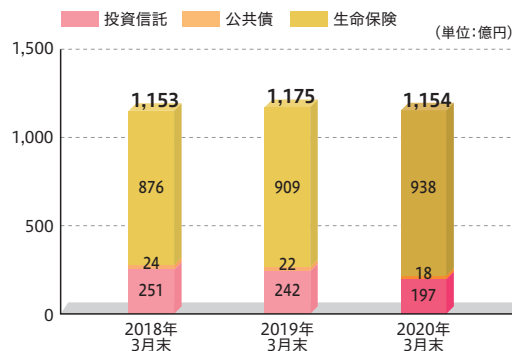
預金(譲渡性預金を含む)の状況

預金残高は、法人預金が減少するとともに、個人預金において高利回り商品を抑制し定期預金が減少したことなどから、2019年3月末比430億25百万円減少の1兆2,212億74百万円となりました。



預かり資産の状況

預かり資産残高は、お客さまの保険運用ニーズが依然として高く、生命保険残高が増加したものの、投資信託・公共債が減少したことなどから、2019年3月末比20億80百万円減少の1,154億22百万円となりました。

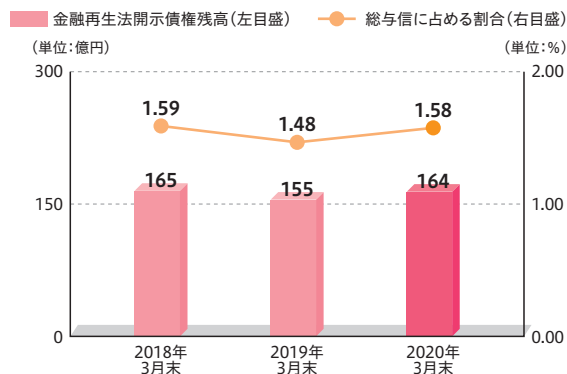


金融再生法開示債権の状況

金融再生法に基づく開示債権の残高は、2019年3月末比9億27百万円増加の164億82百万円となりました。

総与信額に占める割合は、2019年3月末比0.10ポイント上昇し1.58%となりました。

金融再生法開示債権残高および総与信に占める割合



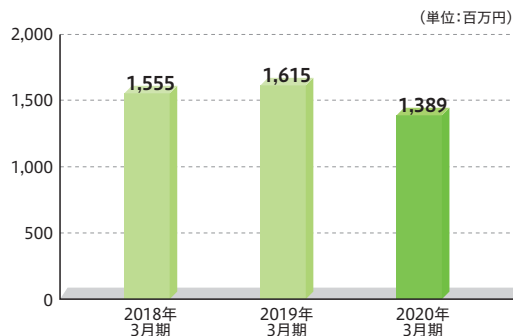
■ 経常利益 「業務純益」から「株式売買損益」や「個別貸倒引当金繰入額」などの臨時損益を加減した利益を指します。
 ■ 当期純利益 「経常利益」に「特別利益」と「特別損失」、そして法人税等の税金を加減した利益を指します。

※金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

業績ハイライト(単体)

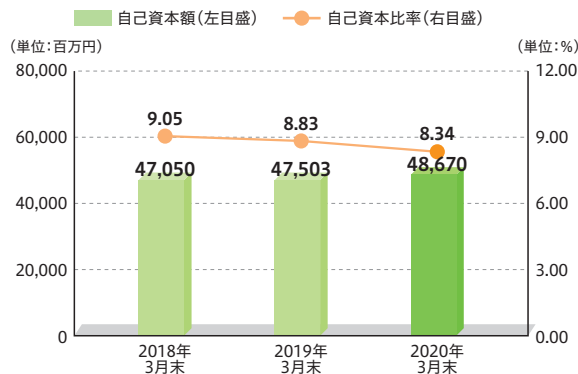
コア業務純益の状況

銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、貸出金利が増加したものの、有価証券利息配当金の減少により資金利益が減少したことなどから、前年同期比2億26百万円減少の13億89百万円となりました。



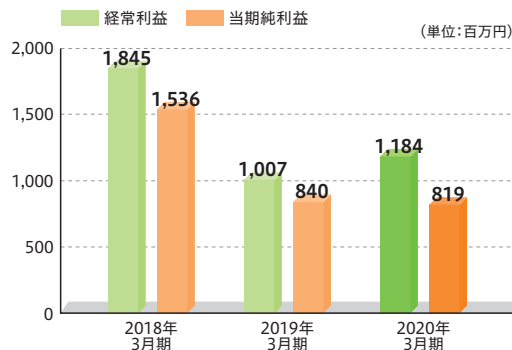
自己資本比率の状況

単体の自己資本比率は、当期純利益を8億19百万円計上したことで自己資本額(分子)が増加した一方で、貸出金残高の増加に伴いリスクアセット(分母)が増加したことなどから、2019年3月末比0.49ポイント低下の8.34%となりました。



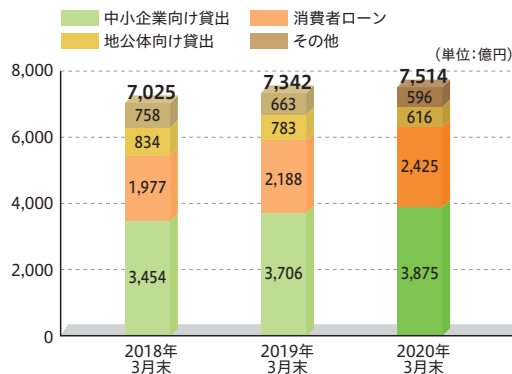
経常利益・当期純利益の状況

経常利益は、前年同期比1億77百万円増加の11億84百万円、当期純利益は、前年同期比20百万円減少の8億19百万円となりました。



貸出金の状況

貸出金残高は、本業支援を通じたお客さまの資金需要への迅速かつ積極的な対応により中小企業向け貸出や住宅ローンが増加したことなどから、2019年3月末比172億9百万円増加の7,514億76百万円となり、仙台銀行として過去最高の貸出金残高となりました。

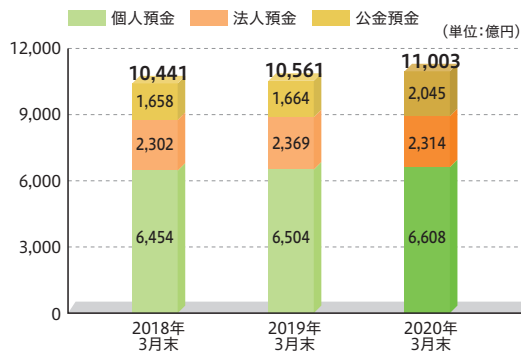


用語解説

■ コア業務純益 「業務純益」から「一般貸倒引当金繰入額」と「国債等債券損益」を除いたものです。分かりやすく言えば、資金運用収益と調達費用の差額である資金運用収支と、送金手数料等の手数料収支から、営業経費を引いた、いわゆる銀行本業部分の収支のことを指します。

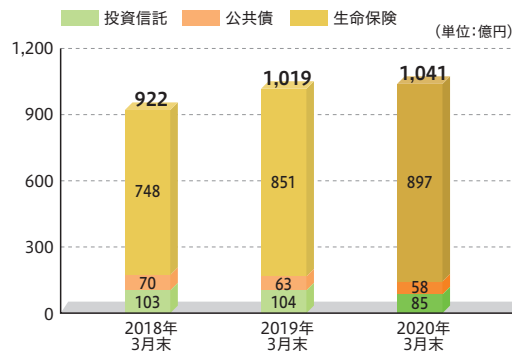
預金(譲渡性預金を含む)の状況

預金残高は、個人預金と公金預金が増加したことなどから、2019年3月末比441億58百万円増加の1兆1,003億55百万円となりました。



預かり資産の状況

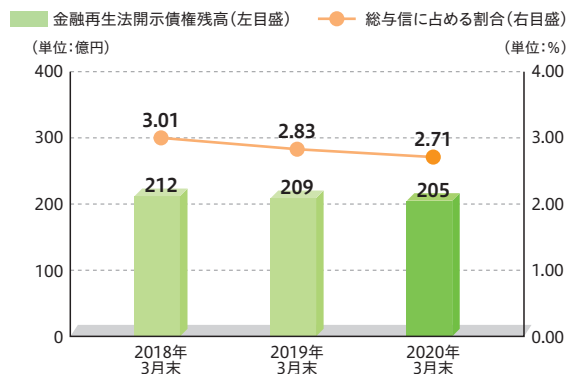
預かり資産残高は、お客さまの資産運用ニーズへの対応により生命保険残高が増加したことなどから、2019年3月末比22億60百万円増加の1,041億90百万円となりました。



金融再生法開示債権の状況

金融再生法開示債権の残高は、2019年3月末比3億54百万円減少の205億48百万円となりました。総与信額に占める割合は、2019年3月末比0.12ポイント低下の2.71%となりました。

金融再生法開示債権残高および総与信に占める割合



■ 経常利益 「業務純益」から「株式売買損益」や「個別貸倒引当金繰入額」などの臨時損益を加減した利益を指します。
 ■ 当期純利益 「経常利益」に「特別利益」と「特別損失」、そして法人税等の税金を加減した利益を指します。

※金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

株主の皆様へ

株式のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年といたします。
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
配当金受領株主確定日	3月31日および中間配当を行うときは9月30日。
基準日	定時株主総会の議決権の基準日については、3月31日といたします。その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
公告方法	電子公告といたします。 【公告掲載ホームページアドレス】 https://www.jimoto-hd.co.jp/ ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞、仙台市において発行する河北新報および山形市において発行する山形新聞に掲載して行います。

株式事務取扱場所

株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号	みずほ信託銀行 株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号	みずほ信託銀行 株式会社 本店証券代行部

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合（特別口座の場合）
郵便物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問合せ先		フリーダイヤル 0120-288-324（土・日・祝日を除く 9:00～17:00）
各種手続お取扱店 （住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等）		みずほ証券 本店、全国各支店 プラネットブース（みずほ銀行内の店舗）でも取り扱いいたします。 みずほ信託銀行 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取り扱いできませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行（※）およびみずほ銀行の本店および全国各支店（みずほ証券では取次のみとなります） （※）トラストラウンジではお取り扱いできませんのでご了承ください。 〈未払配当金のお支払に関するご注意〉 支払開始の日より満5年を経過してもお受け取りにならないときは、お支払できなくなりますので、お早目にお受け取りください。	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問合せ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。 証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

お問合せ先

みずほ信託銀行 株式会社

 0120-288-324

上場株式配当等の支払に関する通知書について

租税特別措置法の改正により、株主様に支払配当金額や源泉徴収税額等を記載した支払通知書を通知することとなっております。つきましては、支払通知書の法定要件を満たした配当金計算書を同封しておりますので、2020年分の確定申告の参考資料としてご使用ください。

なお、配当金を株式数比例配分方式によりお受け取りの場合、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われますので、2020年分の確定申告の参考書類としてご使用いただける支払通知書につきましては、お取引の証券会社等へご確認ください。

株式会社 じもとホールディングス

〒980-0811 仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
Tel.022-722-0011（代表）
<https://www.jimoto-hd.co.jp/>

株式会社 きらやか銀行

〒990-8611 山形市旅籠町三丁目2番3号
Tel.023-631-0001（代表）
<https://www.kirayaka.co.jp/>

株式会社 仙台銀行

〒980-8656 仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
Tel.022-225-8241（代表）
<https://www.sendaibank.co.jp/>